

記載例

申請書を提出するときに

※ 資料がすべてそろっているかどうか、を入れて確認してください。

※ このページを添えて、類)

提出前に必要な書類を確認してください。

確認したらを入れてください。

この紙も添えて提出してください。

必ず要るもの（申請書類）	
<input checked="" type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険料減免申請書
<input checked="" type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少等申告書
◎主たる生計維持者が、新型コロナウイルス感染症で死亡したとき	
<input type="checkbox"/>	死亡診断書(死亡届の右側の部分)のコピー
◎主たる生計維持者が、新型コロナウイルス感染症で重篤な傷病を負ったとき	
「医師による診断書」 または 「感染症患者医療費公費負担決定通知書のコピー」	
<input type="checkbox"/>	(「措置入院勧告書のコピー」と「入院期間が記載された書類(領収書等)のコピー」でも可)
※「措置入院勧告書」「感染症患者医療費公費負担決定通知書」は区保健センターから交付される書類です。	
◎主たる生計維持者が、新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入等が減少したとき	
(前年の収入が分かる書類)	
●事業収入、不動産収入の方	「確定申告書Bの『第一表』」のコピーと 「青色申告決算書」または「収支内訳書」のコピー
○山林収入の方	「確定申告書(分離課税分)の『第三表』」のコピー
○給与収入の方	「源泉徴収票」「勤務先による給与証明書」「給与明細(当該年1月1日から当該年12月31日までの分)」 「確定申告書Bの『第一表』(申告書Aも可)」のコピー など
添付が必要な書類はこれらを見ながらご用意ください。	
(当年の状況が分かる書類)	
●事業収入の方	帳簿類(売上台帳・収支明細表・月次試算表・現金出納帳など)のコピー
○不動産収入の方	家賃等収入が分かる帳簿類(家賃台帳・収支明細書など)のコピー
<input checked="" type="checkbox"/>	○山林収入の方 売却価額等の収入が分かる帳簿類や領収書などのコピー
○給与収入の方	給与明細書などのコピー
※ 事業・不動産・山林収入について、収入額が分かる帳簿類の提出が難しい場合は、 「収入状況申告書(様式1)」によって提出することも可能です。	
◎主たる生計維持者が、新型コロナウイルス感染症の影響で失業したとき	
<input type="checkbox"/>	離職票、退職証明書、雇用保険受給者証などのコピー
◎主たる生計維持者が、新型コロナウイルス感染症の影響で休業したとき	
<input checked="" type="checkbox"/>	休業届、店頭の休業告知チラシの写真、ホームページ上の告知文などのコピー
◎主たる生計維持者が、新型コロナウイルス感染症の影響で廃業したとき	
<input type="checkbox"/>	廃業届、店頭の廃業告知チラシの写真、ホームページ上の告知文などのコピー

新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険料減免申請書

令和 4年 6月21日

神戸市長 あて

申請者 住 所 神戸市 中央区加納町6丁目5-1

(世帯主) 氏 名 神戸 太郎

電話番号 (078) 331-8181

神戸市国民健康保険条例第 23 条の規定により、令和 4 年度の国民健康保険料の減免を受けたいので、次の通り申請します。なお、申請にあたって、減免の審査において所得等の確認が必要な場合は、神戸市長が申請者の世帯員の所得状況等を確認することについて同意します。

証 番 号 (保険証記載の番号)	1234567	世帯主以外の国保加入者が主に生計を維持している場合は、その人の氏名と続柄を記入。	
主に世帯の生計を維持している人 (主たる生計維持者)	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ (申請者と別の場合は下の欄に記入してください)		
	氏名	申請者との続柄	

どちらかにチェック。

減免を受けようとする理由 (どちらに該当するか下の□に✓を付けてください。)

<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症で主たる生計維持者が死亡し、または重篤な傷病を負ったため ※ 死亡診断書の写し(死亡した場合)、医師による診断書、措置入院勧告書 等 が必要です。
<input checked="" type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症の影響で主たる生計維持者の事業収入等の減少が見込まれ、以下の全てに該当するため ○ 事業収入・不動産収入・山林収入・給与収入のいずれかが、前年に比べて3割以上減少する見込みであること。 (収入に保険金・損害賠償等で補填される金額を加算した上で3割以上減少見込み) ○ 前年の所得の合計額が1,000万円以下であること。 ○ 収入減少が見込まれる種類の所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること。 ※ 必ず「新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少等申告書」と「収入の減少が確認できる書類(「申請書を提出するときに」掲載の必要な添付書類例をご覧ください。)」を併せて提出してください。

減収の場合は、必ず次の「収入減少等申告書」とそれが分かる書類の添付が必要。

- ・減免の対象となる保険料は「令和3年4月分
- ・令和3年度分の保険料について、やむを得ない理由があり、申請期限を超えて申請される場合は、「申請ができなかったことについてやむを得ない理由がある場チェックシートを必ず添付してください。

申請ができなかったことについてやむを得ない理由がある場合について

令和3年度分の保険料の申請期限は令和4年3月31日です。ただし、減免対象期間中に既に徴収した保険料がある場合について、申請期限までに減免の申請が出来なかったやむを得ない理由があると市長が認める場合には、申請期限を超えて受付できます。

※国民健康保険法第110条の2（賦課決定の期間制限）に規定する期間を超えるものについては減免を適用することができません。

令和 4年 6月21日

申請者 証番号 1234567

氏名 神戸 太郎

やむを得ない理由についてあてはまる項目にチェックをいれてください。

※やむを得ない理由にあてはまらない場合、減免を適用することができません。

<input checked="" type="checkbox"/>	病気等で長期間の入院・療養が必要だったため。
<input type="checkbox"/>	コロナ禍の影響で確定申告ができなかったため。
<input type="checkbox"/>	無理をして保険料を支払ってきたが、生計維持が困難になったため。
<input type="checkbox"/>	その他()

やむを得ない理由があつて、申請期限を超えて申請される場合、やむを得ない理由に該当する項目にチェックを入れてください。

新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少等申告書

令和 4年 6月21日

申請者 住所 神戸市 中央区加納町6丁目5-1

氏名 神戸 太郎

次ページ以降の「前年収入の記載例」をご参照ください。

- ・事業収入：確定申告書B 第一表の「ア」「イ」の合計額
- ・不動産収入： 「ウ」の金額
- ・山林収入：確定申告書（分離課税用）第三表の「二」の金額
- ・給与収入：源泉徴収票・給与明細・確定申告書 等から記載

ます。この申告が事実と異なること
異議ありません。

◎ 主たる生計維持者の前年の収入と当年の収入（見込額）

※下の太枠内に記入例を参考に記入してください。

※記入にあたっては確定申告書の写しや給与明細等を見ながら記入してください。

※持続化給付金・定額給付金・失業給付金等は以下の収入には含まず記入してください。

収入種別	前年の収入額	今年の収入（見込額）	保険金・賠償金等による補填額（なければ記入不要）	市 確認欄 （減少率）
給与収入	1,920,500 円	2,000,000 円	円	%
事業収入	40,572,600 円	14,980,000 円	円	%
不動産収入	1,600,000 円	1,600,000 円	円	%
山林収入	円	円	円	%

- ・申請後の見込み額は減少した状況から判断して、12月末までにどのくらいの見込になるかを見積もってください。
- ・保険金・賠償金等の補填がある場合はその金額も記載し、そのことが分かる書類（保険の契約書等のコピー）を添付してください。
（なければ記入は不要です）

※令和3年度分保険料の減

※令和4年度分保険料の減

（参考）今年（令和4年）

※下の欄は、令和4年の収入を記入する際、上表「今年の収入（見込額）」欄の見込額の試算にご活用ください。

令和4年の収入の種類	申請時までの収入額（実績）	申請後の収入見込み額	合計額	備考 （メモ欄・自由記載）
給与収入	830,000 円	1,170,000 円	2,000,000 円	
事業収入	14,000,000 円	980,000 円	14,980,000 円	1400万+ (14万×7ヶ月) =1,498万円
不動産収入	667,000 円	933,000 円	1,600,000 円	

（例）5月までの収入は
1400万円だった。

（例）最近の平均月収は14万円/月なので、
14万円×7ヶ月で見込は98万円。

「新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少等申告書」の記入について

◎「給与収入」「事業収入」「不動産収入」の方

「確定申告書B 第一表」の下記の場所の金額を記入してください。

兵庫 税務署長
令和 4 年 2 月 17 日 令和 03 年分の 所得税及び復興特別所得税の 確定申告書B FA2201

現在の住所 〒 650-8570 個人番号 123456789012 生年月日 3410605

ガナ コウベ タロウ
名 神戸 太郎

1月1日 (単位は円) 種類 業種 収入 雑収入 雑所得 雑損失 雑控除 雑控除の特典の表示 整理番号

収入金額等	事業 営業等 (ア)	40572600	税 算 の 計 算	課税された所得金額 (12-19) 上の第1号は第1号	
	事業 農業 (イ)			配当控除 (32)	8000
	不動産 (ウ)	1600000			
	利子 (エ)				
	配当 (オ)	80000			00
	給与 (カ)	1920500			
	公的年金等 (キ)				
	雑業務 (ク)				
	その他 (ケ)	150000			
	短期 (コ)				
	長期 (カ)				
一時 (シ)	100000		所得税及び復興特別所得税の額 (45) (43+44)	200626	
所得金額等	事業 営業等 (1)	5367200	外国税額控除等 (46) (47)		
	事業 農業 (2)		源泉徴収税額 (48)	67567	
	不動産 (3)	1279200	申告納税額 (49) (45-48-47-48)	133000	
	利子 (4)		予定納税額 (第1期分・第2期分) (50)	101200	
	配当 (5)	80000	第3期分の税額 (納める税金) (51) (49-50)	00	
	給与 (6)	1264000	還付される税金 (52) △		
	公的年金等 (7)		公的年金等以外の合計所得金額 (53)		
	雑業務 (8)		配偶者の合計所得金額 (54)		
	その他 (9)	130000	専従者給与(控除)額の合計額 (55)	500000	
	⑦から⑩までの計 (10)		青色申告特別控除額 (56)		
	総合譲渡・一時 (11) (⑩+⑪)×1/2	50000	雑所得・一時所得等の源泉徴収税額の合計額 (57)	15315	

第一表 (令和)

※は⑩の記入をお忘れなく。

事業収入は「ア」と「イ」の合計額を記入してください。

不動産収入は「ウ」の金額を記入してください。

給与収入で確定申告をしている方は「カ」の金額を記入してください。

◎「給与収入」の方（源泉徴収票を見ながら記載される方）

「源泉徴収票」の下記の場所（支払金額の欄）の金額を記入してください。

令和3年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受け る 者	住所又は居所	[受給者番号] [個人番号]																																									
		[改職名]																																									
		氏名 [フリガナ]																																									
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額																																							
	円	円	円	円																																							
(源泉)控除対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額	特定	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)	16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)	非居住者である親族の数																																					
	円	人	人																																								
社会保障料等の金額		生命保険料の控除額																																									
円		円																																									
(摘要)																																											
<table border="1"> <tr> <td>生命保険料の金額の内訳</td> <td>新生命保険料の金額</td> <td>円</td> <td>旧生命保険料の金額</td> <td>円</td> <td>介護医療保険料の金額</td> <td>円</td> <td>新個人年金保険料の金額</td> <td>円</td> <td>旧個人年金保険料の金額</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>住宅借入金等特別控除の額の内訳</td> <td>住宅借入金等特別控除標準年額</td> <td>円</td> <td>居住開始年月日 (1回目)</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>住宅借入金等特別控除区分(1回目)</td> <td>円</td> <td>住宅借入金等特別控除(1回目)</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>住宅借入金等特別控除可動額</td> <td>円</td> <td>居住開始年月日 (2回目)</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>住宅借入金等特別控除区分(2回目)</td> <td>円</td> <td>住宅借入金等特別控除(2回目)</td> <td>円</td> </tr> </table>											生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	円	旧生命保険料の金額	円	介護医療保険料の金額	円	新個人年金保険料の金額	円	旧個人年金保険料の金額	円	住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除標準年額	円	居住開始年月日 (1回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	円	住宅借入金等特別控除(1回目)	円		住宅借入金等特別控除可動額	円	居住開始年月日 (2回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	円	住宅借入金等特別控除(2回目)	円
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	円	旧生命保険料の金額	円	介護医療保険料の金額	円	新個人年金保険料の金額	円	旧個人年金保険料の金額	円																																	
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除標準年額	円	居住開始年月日 (1回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	円	住宅借入金等特別控除(1回目)	円																																	
	住宅借入金等特別控除可動額	円	居住開始年月日 (2回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	円	住宅借入金等特別控除(2回目)	円																																	
源泉・特別控除対象配偶者	[フリガナ] 氏名	区分	配偶者の合計所得	国民年金保険料等の金額	円	旧長期積立保険料の金額	円																																				
	個人番号																																										
控除	1	[フリガナ] 氏名	区分																																								
		個人番号																																									
	2	[フリガナ] 氏名	区分																																								
		16歳																																									

給与収入の方で源泉徴収票を見て記入される方は、「支払金額」欄の金額を記載してください。

給与明細から記入する方は、それぞれの勤務先で様式が違いますので、

「税金その他」を引く前の1年分の金額（支払金額）を記入してください

